

「風景」で地域を盛り上げる！

■風景づくり

2007年4月に発足した地域創生センターの地域マネジメント部門では、主に風景づくりを通して地域活性化のお手伝いをしていきます。身の回りを注意してみると、道端に健気に咲く花や近くの山のかわいらしい形、枝ぶりの面白い松などいろいろなものが増えつつあります。風景を見るまっかかげづくりも風景づくりなのです。こうして風景を愛でることによって、地域への愛着が増し、地域活性化の担い手や、地域を盛り上げていくという意識を醸成することを目指しています。

■風景づくり夏の学校@神山

6月に神山で行われた「風景づくり夏の学校」に学生と共に参加しました。これは風景づくりプランを考えるという1泊2日の合宿です。1日目に神山の方々に案内をしていただいた後、学生たちは徹夜でプランを考え、2日目に神山の方々の前で発表を行いました。

町を一望できる場所へのハイキング



合宿中、地域の方々に食事を提供していただきました。

グヤ、お年寄りと子供との野草摘みなど、「神山を愛でるまっかかげづくり」を考えました。神山の風景を意識して見ることで、地域により愛着を持つてもらおう、そうして神山を愛する人（＝地域活性化の担い手）を増やしていくことを目指しています。

神山の方々に、プランだけでなく、学生が神山の活性化について考えたこと自体も喜んでいただけました。地域マネジメント部門では今後、地道だけれども着実に地域を盛り上げていけるような活動を行っていきたく考えています。

本書「なるほど現代歯塾」は、歯学部創立30周年記念事業の一環として、今年2月に一般市民向けに発売された教養本です。徳島大学歯学部が出版する本としては、20周年時の四国地区で放送されたテレビ講座のテキストでもある「歯と口と健康——生きるよろこびを支える口の科学」以来のものであります。

著者は、歯学部の教員および本学出身の他大学の教員や開業医などの本学関係者からなっています。本のタイトルも表紙のデザインもすべて同窓生への公募から決定されています。ある意味歯学部30年の成果が凝縮されたものです。

歯科医学はこんなに進歩した、歯

科だからできるこんなにすばらしいこと……などなど。「おしゃぶり」と指しゃぶりがどちらがいいの、「芸能人の歯はどうしてきれいな」、「きれいな口で風邪知らず」など、知っていたら楽しい、知っていたらこんなにお得、知らないと思う、是非知ってほしい「歯と口と健康」に関する30項目を精選し、Q&A形式によってわかりやすくやさしく解説したものです。興味深いコラムも用意されており、薬学部の創立に貢献された長井長義先生の入れ歯の写真も載っています。

教養書としてだけでなく、歯学系

受験生の面接、小論文対策にも、医院の待合室に置く本としても役立つものです。

『なるほど現代歯塾』

—健康で快適な生活のために—

出版社：医歯薬出版
定価：2,100円(税込み)
発刊日：2006年

大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面補綴学分野

市川 哲雄
いちかわ てつお



とくtalkへのご意見

●大学全入時代を迎えて魅力ある学校づくりに努め、また法人化に応じた改革を進めた結果、学生達の大学生活がどのように変わってきたかが具体的にわかるような記事があればと思う。学生の生の声が少ないように思えた。

→今号の特集である学生パワーやサークル紹介などで学生の声を取り上げていますが授業や課外活動を含む学生の日常生活についての生の声を紹介できるような特集を考えたいと思います。

●徳島大学には、公開講座があると聞いていますが、そのような紹介はあったのでしょうか？広報で紹介してはと思いますが検討願います。

→次回の特集では生涯学習として徳島大学の公開講座を取り上げました。ホノルルマラソンや四国遍路など、興味深い内容になっていますので、ご期待下さい。